



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社 アイネット

上場取引所 東

コード番号 9600 URL <https://www.inet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 佐伯 友道

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 石綿 丈二

TEL 045-682-0806

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,684	1.7	1,648	26.2	1,676	26.8	1,440	4.1
2024年3月期第3四半期	28,213	10.6	2,233	65.1	2,291	65.2	1,501	76.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 783百万円 (58.9%) 2024年3月期第3四半期 1,905百万円 (198.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	93.62	
2024年3月期第3四半期	93.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	36,484	18,542	50.8
2024年3月期	37,607	20,097	53.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 18,542百万円 2024年3月期 20,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		26.00		27.00	53.00
2025年3月期		28.00			
2025年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	4.4	2,500	15.5	2,500	17.4	2,200	0.1	143.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	16,242,424 株	2024年3月期	16,242,424 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	984,732 株	2024年3月期	257,684 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	15,381,368 株	2024年3月期3Q	15,984,849 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や個人所得で改善が続いており、景気は緩やかに回復しております。一方で、賃金の上昇や円安などに起因する物価上昇、特にエネルギーと食品の価格上昇がインフレ率を押し上げており、本格的な景気回復には至っておりません。このようなことから、企業を取り巻く環境は今後も厳しい見通しであり、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が属する情報サービス業界においては、企業の働き方改革や人手不足への対応等を目的として、業務効率化システムの需要が増加しております。加えて、「デジタルトランスフォーメーション（DX）」をテーマとした、クラウドコンピューティングの普及拡大、ビッグデータやAI（人工知能）の活用拡大、IoTの推進への取り組みも継続していることから、引き続きシステム関連への投資は旺盛であり、市場は拡大傾向にあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画（2022年4月-2025年3月）における最終年度を迎えており、グループ一丸となり業容拡大に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高28,684百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益1,648百万円（同26.2%減）、経常利益1,676百万円（同26.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,440百万円（同4.1%減）となりました。

売上高は、前年同期比で増収となりました。情報処理サービスは、ストックビジネスであるデータセンター・クラウドサービス、及びサービスステーション（「SS」、「ガソリンスタンド」）向け受託計算サービスが堅調に推移していることに加え、マーリングサービスも新規受注が拡大し、前年同期比でプラスとなっています。システム開発サービスは、開発が遅れていた案件を挽回し、新規案件の受託も強化したため、第3四半期単体では前年を上回りましたが、累計期間では前年同期比で減収となりました。

営業利益、経常利益は、いずれも前年同期比で減益となりました。今年度は、上半期からクラウドの仮想化環境用ソフトウェアのライセンス費用の上昇、設備と開発投資の償却負担を主因に原価高が継続しております。原価の上昇に対し、販売価格への転嫁と販管費などのコスト削減に努めてまいりましたが、補いきれず減益となりました。適正価格での販売や新規案件獲得に伴う増収効果により、減益要因は解消されつつあり、第3四半期単体の営業利益は例年並みに回復しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上により、前年同期比で若干減にとどまりました。

当第3四半期連結累計期間におけるサービス別売上高、売上総利益の状況は以下のとおりです。

[情報処理サービス]

売上高は11,478百万円（前年同期比4.0%増）、売上総利益は2,095百万円（同10.4%減）となりました。

顧客のデータセンター利用に対するニーズは継続しており、データセンター・クラウド事業の売上は順調に推移しております。また、当社が長年手掛けるエネルギー産業向け受託計算サービスも、SSが減少する環境下で一定のシェアを確保しており、堅調な売上を維持しています。また、販売を強化しているプロパンガス販売会社向けスマートメーター・サービスに対応する販売管理システム「プロパネット」も好調に推移しております。マーリングサービスは、第1四半期の大型案件失注を新規受注の拡大でカバーし、上半期から継続して前年同期比プラスとなっています。

一方で、クラウドの仮想化環境用ソフトウェアのライセンス費用上昇や、データセンター設備の更新投資、SS向けに提供している自社開発システムへの追加投資による償却費の負担増などにより、原価が上昇しています。販売価格の改定を進めており、利益水準は回復基調にありますが、上半期の落ち込みをカバーするには至っておりません。その結果、売上総利益は前年同期比で減少しました。

[システム開発サービス]

売上高は15,765百万円（前年同期比1.1%減）、売上総利益は3,418百万円（同4.8%減）となりました。

システム開発を手掛けるグループ会社2社の業績が好調を維持している一方、当社単体の売上が伸び悩み、開発原価も上昇しているため、連結ベースでの収益が伸びませんでした。特に主要顧客であるエネルギー産業向けのソフトウェア開発と、流通業向けの受託開発が減少し、当初計画を下回りました。一方で、金融業向けの受託開発案件が回復し、製造業顧客からの受注増加や、市場が伸びている宇宙・防衛産業向けのビジネス拡大が、他業態向けの落ち込みを下支えし、売上、利益ともに前年同期比で微減となりました。

[システム機器販売]

売上高は1,440百万円（前年同期比16.2%増）、売上総利益は296百万円（同6.3%増）となりました。
主に、情報処理サービスの顧客への機器販売が順調に推移し、増収増益を確保しています。

サービス別売上高、売上総利益

		2024年3月期 第3四半期 累計期間	2025年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	
				増減額	増減率
情報処理サービス	売上高	百万円 11,034	百万円 11,478	百万円 444	% 4.0
	売上総利益	2,338	2,095	△243	△10.4
システム開発サービス	売上高	15,939	15,765	△173	△1.1
	売上総利益	3,591	3,418	△172	△4.8
システム機器販売	売上高	1,239	1,440	200	16.2
	売上総利益	278	296	17	6.3
合計	売上高	28,213	28,684	471	1.7
	売上総利益	6,209	5,810	△398	△6.4

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

	2024年3月期 第3四半期 累計期間		2025年3月期 第3四半期 累計期間		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
営業利益	百万円 2,233	% 7.9	百万円 1,648	% 5.7	百万円 △584	% △26.2
経常利益	2,291	8.1	1,676	5.8	△615	△26.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,501	5.3	1,440	5.0	△61	△4.1

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,484百万円となり、前連結会計年度末比1,122百万円の減少となりました。その主な要因は「有形固定資産」等の増加があったものの、「現金及び預金」、「投資有価証券」等が減少したことによるものであります。

なお、純資産は18,542百万円となり、自己資本比率は50.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、2024年5月9日に公表いたしました連結業績予想を変更しております。詳細は、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,279,892	4,509,970
受取手形、売掛金及び契約資産	6,647,366	6,766,996
商品及び製品	164,259	47,850
仕掛品	152,618	264,166
原材料及び貯蔵品	92,837	113,743
その他	477,061	736,800
貸倒引当金	△245	△206
流動資産合計	12,813,790	12,439,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,609,956	10,455,931
土地	2,954,476	2,950,519
その他（純額）	1,695,420	2,459,869
有形固定資産合計	15,259,853	15,866,321
無形固定資産		
のれん	135,803	113,581
ソフトウェア	2,097,223	1,945,583
その他	381	381
無形固定資産合計	2,233,408	2,059,545
投資その他の資産		
投資有価証券	4,854,983	3,719,440
退職給付に係る資産	1,451,869	1,490,144
その他	1,021,781	938,162
貸倒引当金	△28,241	△28,142
投資その他の資産合計	7,300,392	6,119,605
固定資産合計	24,793,654	24,045,471
資産合計	37,607,445	36,484,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,171,721	1,938,264
短期借入金	2,714,508	6,215,465
未払法人税等	783,704	302,323
賞与引当金	1,019,786	561,410
受注損失引当金	70,566	20,385
資産除去債務	61,817	—
その他	5,223,251	4,606,946
流動負債合計	12,045,355	13,644,795
固定負債		
長期借入金	4,584,718	3,585,415
退職給付に係る負債	550	8,994
資産除去債務	172,021	225,503
その他	707,793	477,263
固定負債合計	5,465,083	4,297,176
負債合計	17,510,439	17,941,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,203,992	3,203,992
資本剰余金	3,147,381	3,155,379
利益剰余金	12,559,884	13,141,133
自己株式	△304,839	△1,791,800
株主資本合計	18,606,419	17,708,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264,573	617,903
退職給付に係る調整累計額	226,013	216,212
その他の包括利益累計額合計	1,490,586	834,115
純資産合計	20,097,006	18,542,821
負債純資産合計	37,607,445	36,484,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	28,213,091	28,684,673
売上原価	22,004,053	22,874,229
売上総利益	6,209,037	5,810,444
販売費及び一般管理費	3,975,763	4,161,947
営業利益	2,233,274	1,648,497
営業外収益		
受取利息	5	136
受取配当金	64,906	51,329
投資事業組合運用益	2,778	17,793
その他	27,051	44,892
営業外収益合計	94,741	114,152
営業外費用		
支払利息	26,690	40,201
持分法による投資損失	624	33,821
支払手数料	8,386	10,496
その他	400	1,233
営業外費用合計	36,101	85,752
経常利益	2,291,914	1,676,896
特別利益		
投資有価証券売却益	—	634,392
ゴルフ会員権売却益	—	480
固定資産売却益	5,644	—
特別利益合計	5,644	634,872
特別損失		
本社移転関連損失	—	59,780
固定資産除却損	110	5,827
リース解約損	1,627	—
特別損失合計	1,738	65,608
税金等調整前四半期純利益	2,295,820	2,246,160
法人税等	794,504	806,107
四半期純利益	1,501,315	1,440,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,501,315	1,440,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,501,315	1,440,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402,342	△646,669
退職給付に係る調整額	2,232	△9,801
その他の包括利益合計	404,575	△656,471
四半期包括利益	1,905,891	783,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,905,891	783,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づく自己株式690,000株の取得、及び、2024年7月31日開催の取締役会決議に基づく自己株式76,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,486,960千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,791,800千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の摘要)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に関する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,533,879千円	1,686,605千円
のれんの償却額	22,222	22,222

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

当社グループは、情報システムの企画・開発から稼働後の運用・保守・メンテナンスまで一貫したサービスを提供しており、単一事業として管理しております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。